



5月も半ばを過ぎ、気温の高い日もあり体調管理に注意が必要な季節となりました。新年度が始まり、2か月がたとうとしている現在、授業や部活動、学校の行事などに一生懸命取り組む生徒の姿が見られ頼もしく思います。ただ、報道でも見られるように熱中症やインフルエンザが心配でもあります。防止対策をしっかりとりながら、学校生活をおくらせたいと思います。

○ この2ヶ月で感じたことから2つ



『1時間1時間の授業と家庭学習の大切さ』

各学年の授業を見て回っています。それぞれの先生が、今日教える授業の内容を事前に組み立て、どこにポイントを置いて教えるか、時間をかけながら準備をしてその授業に臨んでいます。生徒達は、先生の説明を聞き、質問や課題を考え、内容のポイントを書き取り、運動や実験・実習に体を動かし、一生懸命する姿があります。見ていてとても気持ちが良いです。

さて、問題は学んだことがどれだけ身に付いているかです。授業1時間の中で学ぶ内容はたくさんあります。授業内で覚えることは至難の業、家庭での振り返り（家庭学習）と学校での振り返り（問題プリント等での学習）をどれだけ真剣に取り組んでいるかにかかっています。特に家庭学習が、自分の理解や覚えていないところがどこなのかを把握する「確かめの場」になっているかどうかということです（問題プリントや授業プリントの振り返りでチェックするとよいですね）。その上で、理解や覚えていないことを先生に聞いた、友達に聞いた、自分で覚え直したりする取組の積み重ねになっていきます。ぜひ、今までの家庭学習がどうであったかの振り返りをしてみてください。本年度から2年間、本校は「子どもの学び研究開発指定校として、県から指定を受けています。今後研究を進めていくこととなりますが、家庭学習の充実も大きなポイントになっていくと考えています。家庭との連携を図りながら、学校では【一人一人を大切にした学力向上への取組】をとおして、全生徒が将来に結びつく力を身に付けるために努力していきます。

『朝のあいさつ』

朝、正門前に立っています。徒歩や自転車で通学する生徒、笑顔であいさつを返してくれます。ありがたいことです。「さあ、今日もしっかりやろう」という活力をくれます。あいさつの素晴らしさを毎日身にしみて感じているところです。



○ 春の全国交通安全運動街頭啓発活動に生徒会が参加

5月12日(金)の朝、春の全国交通安全運動に合わせた日向警察署の街頭啓発活動に生徒会の20名の生徒が参加しました。新生町の交差点に立ち、チラシや啓発グッズを配付したり、パトカーのマイクから自転車乗車時のヘルメット着用の呼びかけをしたりしました。本年度、日向署から自転車交通安全モデル校、自転車盗難防止モデル校に指定されています。生徒会が中心となり、交通安全の意識を高めていって欲しいと期待しています。



○ 読書のすすめ

本校には、市から学校図書司書の溝口公実（みぞぐちひとみ）さんが週1～2日来られます。図書室の整備や蔵書の管理を行い、読書のためのよい環境づくりを行っていただいています。今の時代は、ネットで検索すれば知りたい内容をすぐに手に入れることができます。しかし、本からでしか得られない内容があることも確かです。読書には想像力をつけたり、相手のことを共感できる心を養ったり、リラックス効果を得たり、さまざまな効果があると言われていますが、情報収集が必要なこれからの時代こそ本が大切になると思います。ぜひ、読書に親しみ図書室利用が多くなることを願っています。